

同地区小平での話によると、男神女神の間をせき止めるため大森山を動かそうとしたが、どうしても持ち上がらない。小平の薬師如来が、お前が背負っているのは黒龍神社の祭神・天乃手力男命あめのたぢからおのみことだと教えると、あきらめて茂谷山へ行ってしまった。